



2024年1月30日 N○4
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2024年春闘・月間推進ニュース

第25回中央委員会を千葉市内で開催 2024年春闘と被災地の復興に総決起しよう

1月27日(土)～28日(日)に千葉・クロスウェーブ幕張にて、第25回中央委員会を開催しました。角田季代子中央執行委員のあいさつでは「能登半島地震の犠牲者と被災者に心からお悔やみとお見舞い申し上げます。一刻も早く安否不明者の発見と被災者たちの生活再建が進むことを政府や自治体に求めます。義援金



代表あいさつをおこなう角田委員長

カンパのとりくみを強化しましょう」、続いて『『失われた30年』によって、国民生活は苦しくなっています。一方で自民党は金権腐敗にまみれ財界・大企



義援金カンパを手渡し激励しました。

業支援を今なお継続し、大軍拡予算は8兆円となっています。復興支援に回せの声を広げましょう」「24春闘は、経済の立て直しと国民生活の改善を結び付けた大幅賃上げを勝ち取る為に全組織が奮闘しましょう。」と話しました。

その後、廣瀬書記長が24春闘方針、統一要求基準などを提案し、全体討論

をおこないました。討論は被災地からの特別報告を受けて、全体で21名が発言し、「24春闘の構え、要求アンケート推進、各職場・地域と業種部会の経済闘争の推進、組織拡大、争議」など、物価高騰で厳しい情勢の中、各地のとりくみが縦横に語られました。

会場では、「能登半島地震の義援金カンパ」と「京都市長選支援カンパ」を集め、被災した石川県本部中央委員と京都府本部中央委員にそれぞれ角田委員長が手渡し、参加者からも激励と連帯の拍手が送られました。全ての議案を採択し、2024年春闘闘争宣言を確認し、中央委員会を終えました。



京都市長選支援カンパを手渡ししました